

【気象・海況】 沖合水波及・赤潮気味 → 継続中

- 気象 向こう1か月の気温は、前半は低く、後半は平年並み。
- 水温 新富津観測ブイは沖合水の波及によって、11～15℃で数時間～数日おきに変動（図1）。千葉北部は8℃前後、木更津地区と富津漁協は9℃前後で推移。
- 栄養塩 木更津以北の漁場は、千葉市沖でケイ藻プランクトンが増殖したため、リンが引き続き低水準（表1）。富津岬以南では沖合水の波及に連動し、窒素の増減変化があるものの、ノリの色調低下に影響しないレベル。
- 沖合水 1/23 から波及した沖合水の勢力は若干、弱くなったが、現在も断続的に波及中。

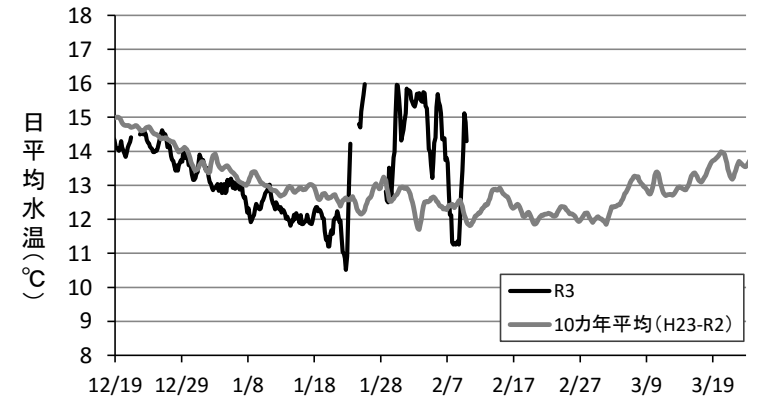


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

表1 水質観測結果(2/7, 8)

基準値: 窒素 100, リン 10

($\mu\text{g/L}$)	船橋	木更津	富津 (沖ベタ)	新富津 (2海ほ下)	大佐和 (大貫沖)
窒素	352	304	371	203	209
リン	7	3	16	15	15

【今後の留意点】 登り水温期を意識した養殖管理！

○アカグサレ病対策

2月下旬から水温は上昇し、また、日長時間も長くなるため、ノリの生長が速くなります。

同時にアカグサレ病菌が活性化するので、先手を打って、病気が感染・蔓延する前に段線管理や活性処理など対策してください。

○食害対策

沖合水が波及した漁場では、水温上昇に伴いクロダイの食害が再び強くなっています。この事例のようにクロダイの食害は、水温に左右されます。現在、食害が終息している漁場でも、登り水温期に再び食害が強くなる可能性があるため、防除ネットを外している漁場は再設置できるように準備をしてください。